

## 保険者基本情報及び実施率

【基本情報】	令和 7年 8月時点										
保険者名	計機健康保険組合										
保険者種別	健康保険組合（総合）										
被保険者・被扶養者の人数／平均年齢	①-1 被保険者数（全体）	35,157	人	①-2 被保険者数（40～74歳）	21,368	人	①-3 被保険者平均年齢（全体）	45.7	歳		
	②-1 被扶養者数（全体）	24,633	人	②-2 被扶養者数（40～74歳）	6,336	人	②-3 被扶養者平均年齢（全体）	25.8	歳		
事業所数／自治体数	453										
特徴（業種・業態・職種）	【業種・業態】					【職種】					
	機械器具製造業										

【実施率】	令和 7年 3月時点					
特定健康診査	被保険者	95.7	%	被扶養者	49.1	%
特定保健指導	被保険者	9.4	%	被扶養者	11.8	%

計機健康保険組合	保健事業カルテ
事業名	特定健康診査
背景となる健康課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診の男性受診者の内、40%近くが内臓脂肪症候群予備軍または該当者である。</li> <li>・LDL（悪玉）コレステロールの基準該当者の割合が全年齢で高い</li> </ul>
事業目的・目標	<p>国が掲げる目標値との乖離について、事業主の理解と協力を得ながら実施率を向上させることを目標とする。</p> <p>貴健保の健康課題（内臓脂肪症候群、高LDL）の解決が目標になると良いです。</p>

健康課題として挙げた内臓脂肪症候群の背景のひとつに、工場勤務・男性の特徴である喫煙がヒアリングを通して挙がりました。今後、そのような特徴を明記することで、効果を上げるための特定健康診査の事業設計をより具体的に検討しやすくなります。

事業の成果 (アウトカム評価指標)	評価指標の定義			実績値						
	項目	計算方法	用いるデータ	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
共通 アウトカム	意欲がある人数	改善意欲がある人数 (A)	法定報告値	13,777	13,212	15,043	15,206	16,228	16,253	15,968
	対象者数	特定健康診査を受けた人数 (B)	法定報告値	22,333	22,963	23,325	24,044	24,758	24,509	25,264
	意欲がある割合	改善意欲がある割合 (A/B)	法定報告値	61.7%	57.5%	64.5%	63.2%	65.5%	66.3%	63.2%
独自 アウトカム	データヘルス計画で設定しているアウトカム評価指標 (1)	今後、事業目標の達成度を測る「アウトカム指標」を設定します。								
	データヘルス計画で設定しているアウトカム評価指標 (2)									

実施年度	実績値							工夫							
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	対象者	事業の流れ	工夫の分類	工夫している点	工夫の理由、ねらい	良かった点	苦労した点・課題
成果を上げる工夫									対象者全員	その他	d.環境整備	令和4年度より被保険者に配布していた組合機関誌を全被扶養者配偶者に個別配付。被保険者には組合HPより閲覧。年4回発行。内容について決算報告等定型記事のほかタイムリーな話題も掲載。	被保険者のみならず被扶養者にも組合事業や健康情報を周知するため。	被扶養者には登録住所に送付することで確実に手元に届けることができる。	紙面づくりの工夫が必要。
									対象者全員	周知・勧奨	b.行動変容・継続支援	セルフメデイケーションとして薬の相談・販売ECサイト「あなたの薬箱」を設置しOTC医薬品の情報提供を行う。「あなたの薬箱」を通じてOTC医薬品を購入する際はインセンティブあり。	OTC医薬品の利用促進を図るため。	勧奨とインセンティブの提供を継続していくことにより、医療費の適正化に有効である。	周知方法の工夫。
									対象者全員	その他	d.環境整備	令和8年度よりオプション検査である腫瘍マーカーを補助の対象外とする。	腫瘍マーカー検査はがんに罹患された方のスクリーニング検査であることや、偽陽性率が大変高いことなどから集団での健診には向かないため。		

実施率向上につながっている可能性がうかがえます。

事業の実施率・実施量 (アウトプット評価指標)	評価指標の定義			実績値						
	項目	計算方法	用いるデータ	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
共通 アウトプット	実施者数	被保険者+被扶養者の特定健康診査実施者数 (A)	法定報告値	22,333	22,963	23,325	24,044	24,758	24,509	25,264
	対象者数	被保険者+被扶養者の特定健康診査対象者数 (B)	法定報告値	28,901	29,453	30,501	30,470	30,329	30,316	30,194
	実施率	(A/B)	法定報告値	77.3%	78.0%	76.5%	78.9%	81.6%	80.8%	83.7%
独自 アウトプット	データヘルス計画で設定しているアウトプット評価指標 (1)	着実に上昇しています。								
	データヘルス計画で設定しているアウトプット評価指標 (2)									

実施年度	実績値							工夫							
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	対象者	事業の流れ	工夫の分類	工夫している点	工夫の理由、ねらい	良かった点	苦労した点・課題
実施率・率を上げる工夫									一部対象者	周知・勧奨	a.意識付け	女性健診の補助が受けられる年齢年齢30歳を迎える扶養配偶者に女性健診の案内を送付。	被扶養者の受診率の向上。	被扶養者の受診率の向上。	
									被扶養者	実施	d.環境整備	令和4年度より東証協婦人生活習慣病健診については被扶養者の自己負担金を0円（無料）とした	被扶養者の受診率の向上。	被扶養者の受診率の向上。	自己負担金を無料にしても大幅な受診率の向上にはいたらず。
									対象者全員	その他	d.環境整備	令和4年度より被保険者に配布していた組合機関誌を全被扶養者配偶者に個別配付。被保険者には組合HPより閲覧。年4回発行。内容について決算報告等定型記事のほかタイムリーな話題も掲載。	被保険者のみならず被扶養者にも組合事業や健康情報を周知するため。	被扶養者には登録住所に送付することで確実に手元に届けることができる。	紙面づくりの工夫が必要。
									対象者全員	実施	d.環境整備	人間ドックについては受診者が7,000円を負担し40,000を限度に補助。	少ない負担で人間ドックを受けてもらうため。		補助額の維持。
									対象者全員	実施	d.環境整備	健康診断、生活習慣病健診、婦人健診、人間ドックの健診項目に特定健診の項目を含める。	組合が契約している医療機関で健診を受ければ特定健診の項目を網羅することができる。	受診率の向上。	医療機関との契約。

評価指標の設定、実績値についてのコメント

・特定健康診査の実施率は増加しており、健康課題とその背景に応じた事業設計が有用と考えられます。  
 ・事業目標の達成度を測る「アウトカム指標」を設定すると、具体的な内容検討につながります。

工夫についてのコメント

・453の事業所を抱える健保として、事業所との連携に努めていることは素晴らしいです。  
 ・事業所が参加する健康委員会では、全国での健診の実施方法に関する意見交換や、健康経営の取組事例の未実施事業所への紹介、次年度事業や法制度改正の報告など、保健事業の意義や職場での受容性を高める工夫が包含されており、これは有用なノウハウです。また、意識の高い事業所から禁煙支援プログラムを導入するなど、牽引事業所を創っていくやり方も秀逸です。  
 ・特定健康診査の技術的な事業設計に関しては、内臓脂肪症候群・高LDLやその背景となる生活習慣、働き方を意識した方法・体制の工夫が重要です。例えば、健診結果返却の工夫（媒体、説明会など）、健診前の啓発通知、事業所と連携した生活習慣・働き方の改善支援（ウォーキング、食生活イベントなど）が考えられます。